

第3回講座



2027年7月4日(土)13:30~14:45
文京キャンパス 882教室

J-POP ~その華麗なる世界 ~ 過去から未来へ

富澤 一誠 / 音楽評論家

音楽評論の第一人者として、J-POPの歴史と価値を社会に提示し続けている日本を代表する音楽評論家。

1951年生まれ、長野県出身。音楽評論家、作家、ラジオパーソナリティ、大学教育者として長年にわたり日本のポピュラー音楽文化を支えてきた人物である。

東京大学文科III類に入学後中退し、1970年代初頭より音楽評論活動を本格化。フォーク、ニューミュージック、J-POP、歌謡曲を中心に、日本の大衆音楽を歴史的・社会的文脈から読み解く評論で高い評価を得てきた。

「良い曲は売れて当然」「才能ある表現者に正当な評価の場を」という姿勢を一貫して持ち、評論にとどまらず、ラジオ・テレビなどのメディアを通じて音楽の魅力を幅広い世代に伝えている。

FM NACK5 などでの長寿ラジオ番組では、豊富な知識と軽快な語り口で親しまれている。著書も多数あり、『あの素晴らしい曲をもう一度』をはじめ、ユーミン、井上陽水、松山千春、中島みゆきなど、日本の音楽史を代表するアーティストや名曲を扱った書籍を数多く執筆。日本レコード大賞では常任実行委員・アルバム賞委員長を務めるなど、音楽業界の中枢にも関わってきた。

教育分野では2018年より尚美学園大学副学長を務め現在同名誉教授&客員教授。後進の育成や音楽研究の発展に尽力。J-POPを学問として捉える視点を教育現場に持ち込み、音楽文化の継承と発展に大きな役割を果たしている。評論・放送・教育を横断し、日本のポピュラー音楽を語り続ける第一人者である。